

新卒採用「待ち」から「攻め」へ

プレゼン大会を通じて業界や会社の理解を深めた善都の試み

新規顧客創出のアイデアを 23名の学生がプレゼンする

就職活動に関する企業説明会のスタート時期はいま3月1日に設定され、採用面接は6月1日からとなっている。決めたのは経団連。2017年卒の大卒求人倍率は1.74倍で5年連続で上昇しており、売り手市場が続いている。ちなみに求人倍率とは、求人総数÷民間企業就職希望者数で求められる。17年は求人総数が73万4300人であったのに対し、民間企業就職希望者数は42万1900人（リクルートワークス研究所調べ）。景気が良い状態であれば、単純に雇用情勢が回復しているとも取れるが、裏を返せば企業が人手不足の状態に陥っているとも捉えられる。

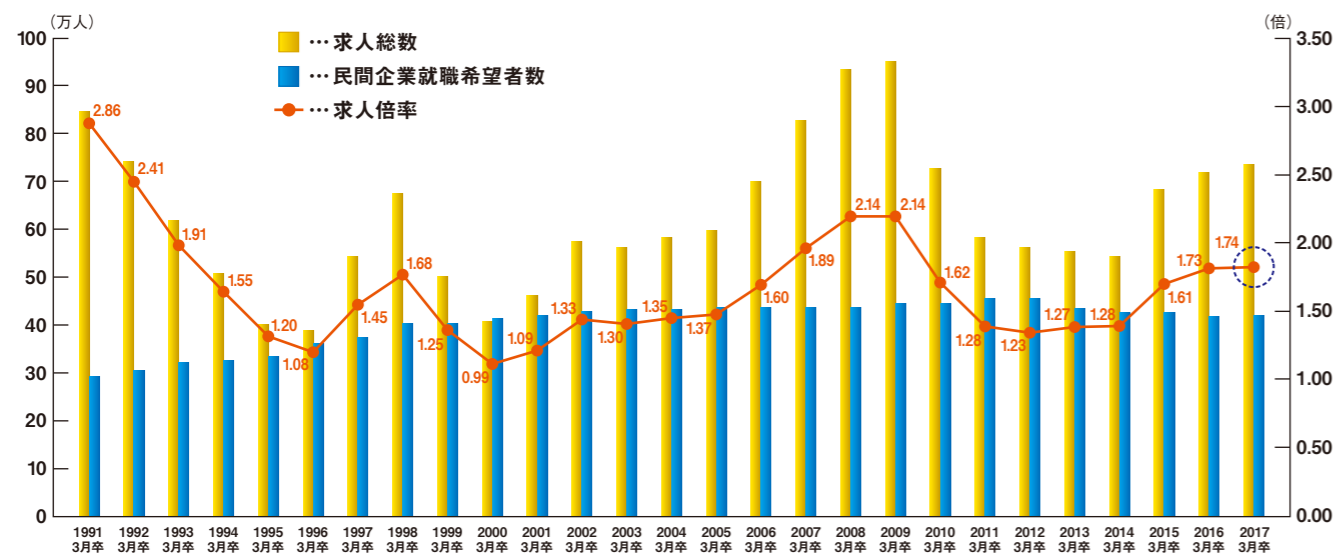


プレゼンで優勝したチームのメンバーと写真撮影に応じる善都の都筑善雄代表取締役社長

こうした中で、「待ち」から「攻め」の採用活動へと舵を切った企業も少なくない。パチンコ業界でもその動きが見られている。

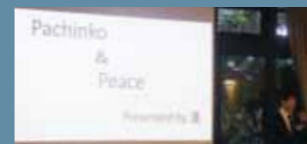
愛知県を中心に店舗を展開する株式会社善都は2月15日から21日にかけて、18年卒の学生を対象にした企画型インターンシップ

求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移



2008年のリーマンショックの影響から立ち直り、求人倍率は上昇傾向にある（リクルートワークス研究所調べ）

5チームに分かれて発表されたプレゼンの内容と順位



●タイトル 「Pachinko & Peace」(チーム漢)

学生とパチンコと社会貢献を結びつけた斬新なアイデアを発表したチーム漢。その発想や着眼点は審査員を唸らせていた。

- 第1位…チーム漢(パチンコ学生団体PSW創設)
- 第2位…チームスマイリー's(真・幹事代行サービス)
- 第3位…チーム常笑(高齢者から若者へパチンコ伝承)
- 第3位…チームA-type(健康×パチンコ)
- 第5位…チームスクラム(子供のための大人娯楽体験学習センターをつくる)

ラジオに出演した学生たち



後日、チーム漢のメンバーは、FMラジオの番組に出演した

「PRESENTATION」を開催した。参加学生23名が4~5名ずつチームを組み、5日間にわたって「遊びの未来を考えよう!」をテーマに、新規顧客創出のアイデアを考え、最終日に発表し優勝チームを決めるという試みだ。目的は、2018年卒採用活動に向け、学生との早期接触および企業・業界への理解を深めること。優勝チームには特典として、「FMラジオ番組の企画・出演権」がプレゼントされる。今年で3回目を迎えたこの試みには、参加を希望する学生が増えてきており、今年は定員の23名に対して数百名の応募が集まった。なお同社では、昨年のインターンシップに参加した23名のうち、3名を採用している。

多彩なプレゼンに目からウロコ 優勝チームは社会貢献に着目

5日間にわたるインターンシップで学生たちはどんな体験をするのか。プログラムは以下のようになっている。

1日目は、ウインクあいちにてプレゼンを行うチームの発表やアイスブレイキング、業界研究を行い、2日目にZENT名古屋北店で学生たちに自由に遊技体験をして

もらう。その後、学生たちはホールスタッフへのヒアリングも行う。

3日目から4日目は、プレゼン大会に向けて、資料作りとなる。

そして5日目にはプレゼン本番を迎える。

発表の日を迎え、緊張する学生たちと6名の審査員が対峙した。学生たちが目をつけたテーマは多岐にわたっており、依存症への取り組み、パチンコのイメージアップ、若者の遊技人口の減少、パチンコ好きの高齢者に対する終活の案内「パチンコ信託」、パチンコと健康など。

その中で優勝したのが、「チーム漢」の4名が発表した「Pachinko & Peace」だ。彼らのアイデアを要約すると、新入学生はサークルや部活などを通じて、今まで体験したことのないことにチャレンジした経験がある人が多い。そこで「PSW (Pachinko Save the World、パチンコは世界を救うの略)」という学生団体を作り、学生が主体となって実際のホールでパチンコを体験してもらうチャリティーイベントを企画。遊技客は大当たり1回につき30円の寄付をしてもらう。寄付金は、感染症ワクチンの開発、食べ物に困

っている人への支援、勉強がしたくてもできない人のために学校を作るといった資金に充てられる。

「パチンコを打つという日常の行為が社会貢献につながっていく」というのがポイントだ。

チーム漢のリーダーは、「このような場を設けていただいたことを感謝しています。班のメンバー、リクルーターの方、この場に来るまでにいろんな方に支援いただいてこの結果となりました。この企画をさらに煮詰めて、もっと上手にプレゼンができるようになればいいと思います」と語った。

審査員の6名

- 株式会社善都 / 代表取締役・都筑善雄氏
- 株式会社善都 / 専務取締役管理本部長・竹田昌仁氏
- ほか / 各業界の有識者 4名

